



島根県立美術館



開館25周年記念

『アンアン』『ポパイ』のデザイン 新谷雅弘の仕事

2024年 6月28日(金)-9月2日(月)

開館時間：10:00-日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)

休館日：火曜日(8月13日は開館)

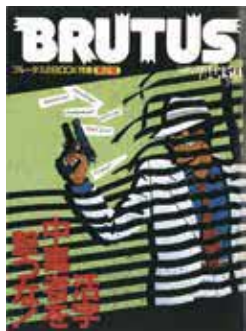
主催：島根県立美術館、日本海テレビ、山陰中央新報社、SPSしまねグループ

特別協力：マガジンハウス

後援：朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



7



6



8



9

1.『アンアン』1970年6月5日号表紙、タイトルデザイン・アートディレクション：堀内誠一、写真：立木三朗 2.『アンアン』1970年3月20日号、アートディレクション：堀内誠一、写真：立木三朗 3.『アンアン』1971年7月5日号、アートディレクション：堀内誠一、レイアウト：新谷雅弘、イラストレーション：原田治 4.『ポパイ』1976年11月1日号表紙、タイトルデザイン：堀内誠一、カバーデザイン：新谷雅弘、イラストレーション：佐藤憲吉 5.『ポパイ』1977年5月25日号、デザイン：新谷雅弘、写真：長浜治 6.『ブルータス』1981年7月1日号表紙、タイトルデザイン：堀内誠一、アートディレクション・カバーデザイン：新谷雅弘、イラストレーション：小森誠 7.『ポパイ増刊 オリーブ』1981年11月5日号表紙、タイトルデザイン：堀内誠一、カバーデザイン：新谷雅弘、イラストレーション：加藤裕将 8.『鳩よ!』1999年10月号表紙、題字：清水達夫、アートディレクション：新谷雅弘、イラストレーション：安西水丸 9.『ブルータス』1981年7月1日号、アートディレクション：新谷雅弘、イラストレーション：山崎正夫

※掲載誌は全て©マガジンハウス ©Hearst Holdings, Inc.

ポパイ
1976年創刊の『ポパイ』は、アメリカの現代的ライフスタイルを新しい切り口で紹介し、他の男性誌とは一線を画する世界観で大きな人気を博します。レイアウトが原稿執筆に先行する「先割」と呼ばれる手法により、新谷流スタイルを確立します。



4



5



3



1

アンアン

『アンアン』は、アートディレクター・堀内誠一を中心に気鋭のメンバーが集結して斬新なヴィジュアルを構成する、それまでにない雑誌。新谷は堀内のアシスタントとして、1970年の創刊号からコラムページのレイアウトなどを担当し経験を重ねていきます。



2

デザイナー・新谷雅弘（島根県隠岐郡在住、1943～）は、堀内誠一（1932～1987）のアートディレクションによる革新的雑誌『アンアン』の創刊に参加以降『ポパイ』『ブルータス』『オリーブ』など多くの雑誌のアートディレクターをつとめました。
本展では「雑誌のレイアウトに課せられているのは人間くさい部分の表現」といった新谷独自のデザイン哲学を、70～80年代を中心とする実際の誌面をおしご覧いただきます。
また、同時代に広く普及したイラストレーションの魅力もご紹介いたします。
エディトリアルデザインという観点から雑誌の世界をお楽しみいただく展覧会です。

新谷雅弘

SHINTANI Masahiro

1943年大阪府生まれ。生後すぐ戦火を避けて父母の出身地である島根県隠岐郡海士町に疎開し、10歳まで過ごす。大阪に戻り、その後多摩美術大学デザイン科を卒業、広告代理店アド・センターを経て、1970年『アンアン』創刊に参加する。堀内誠一のアシスタントとなり、フリーランスとしてレイアウトを担当した。『ポパイ』創刊から誌面レイアウトの中心となり、独自のデザインを確立。その後、『ブルータス』『オリーブ』『鳩よ!』『ハナコ』『ギンザ』『マッソ』など、マガジンハウスの多くの雑誌のアートディレクターを務めた。



オープニングギャラリートーク **要企画展観覧料**

講師：新谷雅弘（デザイナー、本展監修者）
日時：6月28日（金）10時頃（約45分） 会場：企画展示室

トークイベント **聴講無料**

「POPEYEはどのように生まれたのか」

講師：石川次郎（編集者）×新谷雅弘（デザイナー、本展監修者）
日時：8月24日（土）14時～（約90分）
会場：ホール（190席・当日先着順／30分前開場）

ギャラリートーク（担当学芸員による展示解説） **要企画展観覧料**

日時：7月27日（土）、8月18日（日）、25日（日）14時～（約45分）
会場：企画展示室

観覧料

●オンラインチケット・ローソンチケット

【企画展・コレクション展セット】

一般：1,100円／大学生800円／小中高生400円

2024年5月28日から販売、オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます（ローソンチケット/Lコード61782）

●当日券（ ）内は20名以上の団体料金

【企画展・コレクション展セット】

一般：1,450円（1,160円）／大学生：1,100円（880円）／小中高生：500円（400円）

【企画展のみ】

一般：1,300円（1,040円）／大学生：1,000円（800円）／小中高生：500円（400円）

・未就学児無料・小中高生の学校教育活動での観覧は無料 ・身体障害者手帳（障害者手帳アプリ：ミライロID）、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

表紙：新谷雅弘「ポパイ」表紙レイアウト原稿）2023年（再制作）部分と「ポパイ」1978年6月10日号表紙（イラストレーション：穂積和夫）部分 ©マガジンハウス ©Hearst Holdings, Inc.

現在進行形のカセットテープ概論

要企画展観覧料・要事前申込

講師：角田太郎（カセットテープ専門店waltzオーナー）
日時：7月21日（日）14時～（約90分）
会場：講義室・企画展示室 定員：40名

美術館キネマ「2001年宇宙の旅」 **鑑賞無料**

（1968年／アメリカ／監督・製作 スタンリー・キューブリック／字幕）
日時：7月14日（日）①10時～ ②14時～（148分）
会場：ホール（190席・当日先着順／30分前開場）

特別メニュー
RACINE

館内カジュアルフレンチレストラン「ラシヌ」では、クリームソーダ、コーヒーフロートなどを、お楽しみいただけます。
※テイクアウトもご用意します。



©1968 Warner Bros. Entertainment Inc.
All rights reserved.



島根県立美術館×島根県立石見美術館
ふたつ見て、もらおう。

本展と島根県立石見美術館
「堀内誠一 絵の世界」
（7月6日～9月2日）の両方をご覧の方に
展覧会グッズをプレゼント。
企画展入口でスタンプカードを配布します。
※プレゼントがなくなり次第終了

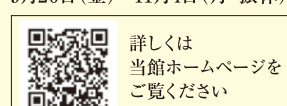
関連小企画 **要コレクション展観覧料**

夏の自由研究
もじのデザイン

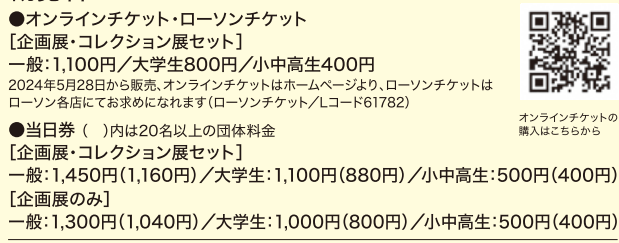
6月6日（木）～9月9日（月） 展示室5

【次回企画展予告】

開館25周年記念 落合朗風展
明朗美術連盟と目指した世界
9月20日（金）～11月4日（月・振休）



詳しくは
当館ホームページを
ご覧ください



オンラインチケットの
購入はこちらから



【交通案内】
●JR松江駅から徒歩約15分
●JR松江駅から松江市営バス（南循環線内回り）6分
→「県立美術館前」下車
●観光ループバス（レイクライン）
→「県立美術館前」下車
●山陰道～松江西ランプから車で約5分
【駐車場】
国道9号袖師交差点南進（駐車場より地下道をご利用ください）
※3時間まで無料

こどもといっしょの
鑑賞優先時間
毎日10:00～12:00 ※休館日をのぞく

島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL:0852-55-4700 FAX:0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp